

第28回 西京コンサート

ミハイル・プレトニョフ 指揮

ロシア・ナショナル管弦楽団

Russian National Orchestra
Mikhail Pletnev



ラフマニノフ:ピアノ協奏曲第2番 ハ短調 op.18 ストラヴィンスキー:バレエ音楽「火の鳥」(1945年版)



「ロシア芸術で最高の生きたシンボル」(マイアミ・ヘルド 紙)
「人が望み得る完璧に最も近い演奏」(トリニティー・ミラ 紙)

創設者&芸術監督
ミハイル・プレトニョフ
©RNO



＜ソリスト＞ 牛田智大 (ピアノ) ©Ariga Tomosawa

＊衣装企画：(株)オンワード樺山 ＊縫製：グッドヒル(株)

平成30年

6月23日(土)

15:00開演(14:30開場)

周南市文化会館 大ホール

入場料：〈S席〉9,000円 〈A席〉8,000円 〈B席〉7,000円 〈C席〉6,000円

会員先行発売：3月4日(日) 一般発売：3月18日(日) 財団会員500円割引 ※未就学児入場不可

■プレイガイド〈周南〉周南市文化会館 演奏堂 〈下松〉スターピアくだまつ 〈防府〉アスピラート 〈山口〉山口井筒屋

■オンライン販売〈ローソンチケット〉0570-084-006(Lコード：62500) 〈チケットぴあ〉0570-02-9999(Pコード：106-038)

主催：西京教育文化振興財団／西京銀行／周南市文化振興財団／**KRY**山口放送

(お問い合わせ)周南市文化会館 0834-22-8787



©RNO

ロシア・ナショナル管弦楽団(RNO) Russian National Orchestra

ミハイル・プレトニョフの下、ロシア初の民間オーケストラとして1990年に創立されて以来、世界一流のオーケストラとして活動。ロシアのオーケストラとして初めてパチカンとイスラエルでコンサートを行い、マルタ・アルゲリッチ、イツァーク・パールマン、ルネ・フレミング、ラン・ラン、ピンカス・ズッカーマン等世界一流のソリスト達をソリストに選んでいる。

グラモフォン誌は、RNOの初のCD(1991)を、チャイコフスキーの交響曲「悲愴」の録音史上、最高のものとして「畏敬の念を起させる経験。人間がどのように演奏することが可能であってよいものだろうか」と讃えた。以来、ドイツ・グラモフォンとベンタ

ーン・クラシックスから60以上のCDが発売されており、一流レーベルを含む複数のレコード会社と長年に亘って関係を確立している唯一のロシアのオーケストラとして、他と一線を画している。ケント・ナガノ指揮、ソフィア・ローレン、ビル・クリントン、ミハイル・ゴルバチョフのナレーションによる、プロコフィエフ「ピーターと狼」とパンテュスの「狼のたどる道」の録音は2004年、レコード業界における最高の栄誉であるグラミー賞を、ロシアのオーケストラとして初めて受賞した。

2009年より毎年夏にモスクワにおいて自らのフェスティバルを行っている。



©RNO

Mikhail Pletnev (Founder & Artistic Director)

指揮:ミハイル・プレトニョフ

その幅広い活動により、一言では説明出来ない多才な芸術家。ピアニストとして世界の頂点を極め、指揮者や作曲家としても魔法のような才能で、世界中の聴衆を魅了。ドレスデン国立歌劇場管、コンセルトヘボウ管、フィルハーモニア管を始めとするオーケストラのほか、ボリショイ・オペラでの「スベードの女王」指揮でも大成功を取っている。

1957年生まれ。弱冠21歳でチャイコフスキー国際コンクールのゴールド・メダル及び第1位を受賞し、国際的な脚光を浴びる。驚くべき技巧、深い知性に裏づけられた演奏、完璧にコントロールされた美しい音色で、カリスマ的人気を誇る現代最高のピアニストの一人として活躍。しかし、2006年、突然ピアニスト活動を休止し世界を驚嘆させる。SHIGERU KAWAIピアノとの出会いにより、2013年よりピアノ活動を再開。

1990年ロシア内外の個人、会社、財団等の支援によって資金を得、ロシア史上初めて国家から独立したオーケストラとしてロシア・ナショナル管弦楽団(RNO)を設立。これはロシアでのプレトニョフの知名度・人気の高さを証明している。

東京フィルハーモニー交響楽団には2003年7月以来指揮者として定期的に招かれ、楽団員の圧倒的支持により2014年特別客演指揮者に任命される。

1995年エリツィン前大統領および2002年プーチン前大統領によってロシア共和国第一等国家賞を授与されている。



©Ariga Terazawa

Tomoharu Ushida (Piano)

ピアノ:牛田 智大

1999年10月いわき市生まれ。父親の転勤に伴い、生後すぐ上海に移り6歳まで滞在。幼少の頃より音楽に非凡な才能をみせ、3歳よりピアノを始める。5歳で第2回上海市琴童幼兒鋼琴電視大賽年中の部第1位受賞。8歳の時から5年連続でショパン国際ピアノコンクール in ASIAで1位受賞。2012年(12歳)、第16回浜松国際ピアノアカデミー・コンクールにて最年少1位受賞。

2012年3月に日本人ピアニストとして最年少(12歳)でユニバーサルよりCDデビュー。その後、2013年「思い出」、「献呈〜リスト&ショパン名曲集」、2014年7月2日「トイメライ〜ロマンティック・ピアノ名曲集」が発売され、2015年「愛の喜び」(ユニバーサル ミュージック)に続き、2016年「展覧会の絵」はレコード芸術で特選盤に選ばれている。

各地でのリサイタルに加え、2014年にはウィーン・カンマー・オーケストラ、2015年にはミハイル・プレトニョフ指揮ロシア・ナショナル管、2016年10月には小林研一郎指揮ハンガリー国立フィル日本公演のソリストを務める。2014年9月5日には初の海外公演を行い、台湾の高雄市交響楽団と共演。2017年3月、バンコクにてタイ・フィルハーモニック管弦楽団と共演。

NHK「プロフェッショナル仕事の流儀」、毎日放送(大阪)「ナミノリ!ジュニー」等様々なTV番組や媒体で紹介されている。

上海にて陳融楽(現在バンクーバー在住)、鄭曙星(上海音楽学院教授・ピアノ学科長)、日本にて金子勝子(昭和音楽大学・大学院教授)の各氏に師事。現在、モスクワ音楽院ジュニア・カレッジに在籍。ユーリ・スレサレフ(モスクワ音楽院教授)、ウラディミール・オフチニコフ(モスクワ音楽院教授)他の各氏に師事。

受講無料

入門講座のご案内

はじめてオーケストラを鑑賞される方、鑑賞初心者のための入門講座です。もちろん中上級者も参加できます。長年にわたり市内の中学校で教鞭をとられた布施安浩氏がオーケストラの基礎や聴きどころをはじめ、ストラヴィンスキーの楽しみ方など様々な角度からやさしく解説。6月23日の公演をより楽しむためにぜひご参加ください。

ストラヴィンスキー ~パレエ音楽「火の鳥」から始まった創造の回廊~
講師:布施 安浩

- 日 時/平成30年5月13日(日) 14時から(2時間程度)
- 募集人数/50名程度 ○会 場/周南市文化会館 練習室1
- 参加受付/お電話での先着順受付となります。
[周南市文化会館 0834-22-8787]

徳山駅→文化会館 7分/文化会館→徳山駅 4分

ちよい乗り100円(IC)

動物園 ↔ 徳山駅

文化会館にお越しの際はこちらが便利です。詳しくは下記QRコードをご参照ください。

